

■**渥美清** **俳優**。映画「男はつらいよ」シリーズの“寅さん”で映画史上稀に見る人間像を提供、全国的に愛された。

あつみきよし

共産党事件・1928＝ 東京市下谷区車坂で、地方新聞記者渥美友三郎の次男に生まれる。母タツは元小学校教諭で封筒貼の内職をしていた。

**満州事変**・・1931＝ 3歳：

帝人疑獄事件1934＝ 6歳：上野の板橋尋常小学校に入学、

**二二六事件**・1936＝ 8歳：一家で板橋区清水町へ転居、志村第一尋常小学校に転校、

**日中戦争始**・1937＝ **9歳**：

多病を患い、欠席がちで、ラジオで徳川夢声や落語を聴いて暮らし、出席時に学校で披露して評判。

大政翼賛会・1940＝12歳：板橋城山高等小学校に入学。

**日米開戦**・・1941＝13歳：

・・・・・1942＝14歳：巣鴨中学校に入学するも、学徒動員で軍需工場に駆り出され、

**敗戦**・・・・1945＝17歳：卒業するも、東京大空襲で自宅が被災し焼け出される。工員として働くなどした後、

新憲法公布・1946＝**18歳**：新派の軽演劇の幕引きを務めるうち、大宮の(日活館)で端役で**初舞台を踏み**、中央大学経済学部に入學したが、船乗りを志して中退するも、母に猛反対され、

**独立回復**・・1951＝23歳：**旅回りの演劇一座に入って喜劇役者の道を歩むうち、浅草(百万弗劇場)のコメディアンとなり、**

TV放送始・・1953＝25歳：**{フランス座}に移籍、ストリップの前座を務めるが、**

自衛隊発足・1954＝26歳：**結核療養のため入院、右肺切除によって死地から生還、人生観も大きく変わる。**

**55年体制始**・1955＝**27歳**：**復帰するも、胃腸を患って1年近く入院、退院後は酒・タバコは勿論、コーヒーさえ控える摂生ぶり。**

国連加盟・・1956＝28歳：**\*テレビにデビュー、アドリブの才を認められ、コメディアンとして人気が出始める。**

インスターン・1958＝30歳：**「おトラさん大繁盛」で映画にもデビュー。**

美智子妃・・1959＝31歳：**{フランス座}時代の盟友谷幹一らと{スリーポケッツ}を結成するも、すぐに脱退。**

**安保闘争**・・1960＝32歳：

タイタイ病始・1961＝33歳：**以後5年続くNHKの「若い季節」「夢で会いましょう」のレギュラーとして、全国的になってゆくなか、**

全国総合計画1962＝34歳：**\*映画「あいつばかりが何故もてる」で初主演、フジTVのドラマ「大番」に主演して、一躍スターとなり、**

TV宇宙中継始1963＝35歳：**松竹「拝啓天皇陛下様」主役で、愛すべき無知な庶民を生々と演じ、映画俳優としての地位を築き、**

**東京リビウク** 1964＝**36歳**：**これを契機に、フジTVが「男はつらいよ」を構想、**

大学紛争始・1965＝37歳：**羽仁進「ブワナ・トシの歌」でアフリカ長期ロケ、以後、アフリカに惹かれ、度々訪問するようになる。**

いざなぎ景気1966＝38歳：**TBSが「渥美清の泣いてたまるか」を放送開始。**

美濃部都知事1967＝39歳：**翌年にかけて、映画{喜劇列車シリーズ}。**

霞ヶ関ビル・1968＝40歳：**山田洋次脚本によるフジTVの連続ドラマ「男はつらいよ」に主演し、**

**全共闘ピーク**・1969＝41歳：**\*最終回に死んでしまうストーリーに抗議が殺到、罪滅ぼしにと山田洋次によって映画化されるや、キネマ旬報賞主演男優賞、毎日映画コンクール主演男優賞。「続・男はつらいよ」以後連作となり、**

大阪万博・・1970＝42歳：**下積み時代を支えられ交際10年の竹中正子と結婚。「フーテンの寅」「新・男はつらいよ」「望郷篇」、**

**ドルショック**・・1971＝43歳：**「純情篇」「奮闘篇」「寅次郎恋歌」と、毎年2本のペースで全作品がヒットする大成功シリーズとなり、**

**日中国交回復**1972＝44歳：**「柴又慕情」「寅次郎夢枕」。****{渥美プロ}を設立、自身主演の映画「あゝ声なき友」を製作し公開。**

**石油ショック**1973＝**45歳**：**「寅次郎忘れな草」「私の寅さん」。****「理想の父親像」アンケートで1位になるなど、**

角栄金脈辞任1974＝46歳：**「寅次郎恋やつれ」「寅次郎子守唄」。****渥美清＝車寅次郎という映画史上稀に見る人間像が作り上げられ、**

ケアンズ事件1975＝47歳：**「寅次郎相合い傘」「葛飾立志篇」。****低成長で暗くなる日本を明るくする役割も担って、人気を保ち、**

田中角栄逮捕1976＝48歳：**「寅次郎夕焼け小焼け」「寅次郎純情詩集」、**

JALハイジャック・1977＝49歳：**「寅次郎と殿様」「寅次郎頑張り!」、**

成田衝突・・1978＝50歳：**「寅次郎わが道をゆく」「噂の寅次郎」、**

革新大敗北・1979＝51歳：**「翔んでる寅次郎」「寅次郎春の夢」、**

**貿易摩擦問題**1980＝52歳：**「寅次郎ハイビスカスの花」「寅次郎かもめ歌」、**

・・・・・1981＝53歳：**「浪花の恋の寅次郎」「寅次郎紙風船」、**

**中曽根内閣**・1982＝**54歳**：**「寅次郎あじさいの恋」「花も嵐も寅次郎」、ブルーリボン賞主演男優賞。**

ドイツ元禄・1983＝55歳：**「旅と女と寅次郎」「口笛を吹く寅次郎」、最長シリーズ映画としてギネスブック入りとなる。**

・・・・・1984＝56歳：**「夜霧にむせぶ寅次郎」「寅次郎真実一路」、**

ジャンボ機墜落1985＝57歳：**「寅次郎恋愛塾」「柴又より愛をこめて」。**葛飾区民栄誉賞。

バブル始・・1986＝58歳：**「幸福の青い鳥」、**

竹下内閣・・1987＝59歳：**「知床慕情」「寅次郎物語」、**

リクルート事件・1988＝60歳：**「寅次郎サラダ記念日」。****紫綬褒章。**

昭和天皇没・1989＝61歳：**「寅次郎心の旅路」「ぼくの伯父さん」。****毎日芸術賞、浅草芸能大賞。**

**ドイツ統一**・・1990＝62歳：**「寅次郎の休日」、なお人気を保ち続けたが、体調が衰え、以後毎年1本、出番も大幅に減らすうち、**

**ソ連崩壊**・・1991＝**63歳**：**「寅次郎の告白」、肝臓癌が見つかり、**

**バブル崩壊**・1992＝64歳：**「寅次郎の青春」、**

**55年体制終**・1993＝65歳：**「寅次郎の縁談」、**

自社さ連立・1994＝66歳：**「拝啓 車寅次郎様」、肺に転移、無理をおして、**

村山内閣事件・1995＝67歳：**\*最後の作品「寅次郎紅の花」に奇跡の出演し、**

・・・・・1996＝68歳：**没した。**

没後、「寅次郎ハイビスカスの花 特別篇」が公開された。

吉田司「スター誕生」、「この人どんな人」、「目でみる日本人物百科」、インターネット、